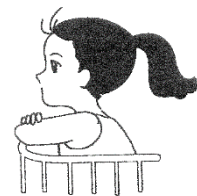


第26回全国のつどい in 和歌山

実行委員会ニュース NO.6



第26回登校拒否・不登校問題全国のつどい in 和歌山 実行委員会事務局 発行 2025. 9. 21
事務局連絡先 〒640-8319 和歌山県和歌山市手平 6-112-1 新堀作業所横丁 NPO 法人エルシティーオ
TEL 073-432-2170 FAX 073-424-5449 メールアドレス tsudoi2025@npoelsitio.com

つどいづくりが進んでいます 第26回全国のつどい第6回実行委員会

残暑(まだまだ酷暑?)の中、北海道、埼玉、東京、神奈川、愛知、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山から76人が集まり、第6回実行委員会が開かれました。(9月7日和歌山ビッグ愛りいぶる会議室)

記念講演講師の馬場さんも参加いただき、全体で簡単な自己紹介をしたあと、分科会ごとに分かれて話し合いを行いました。



実行委員長あいさつ 越野章史さん(和歌山大学准教授)

遠いところ全国からお集まりいただき、また、遠くない方もお休みの日にありがとうございます。

思い返すと3月に第1回の実行委員会が行われ、10月はまだ先と思っていました。でも時間の流れはあっという間で、近畿・和歌山の事務局のみなさんを中心に準備が進んでいます。

今日は分科会づくりの中の具体的な役割分担や、中身について練り上げていっていただくことになると思います。ぜひ、おいでいただいた全ての方に来てよかったと思っていただけるようなつどいにするために、そしてそれがこの先にもつながっていく力を生むと思いますし、今の日本の教育のあり方を問い直す大きなきっかけにもなると思いますので、お一人お一人のお気持ちやご発言を大事にしながら、今日も進めていっていただければと思います。よろしくお願いします。

第6回実行委員会で話し合われたこと

(★は説明や提案、☆は提案のあと出た意見などです)



1 分科会等について説明

★どのような分科会にするか確認を。初めての人、ずっとつどいに出ている人、親、先生、研究者等、対等平等の立場ですので、自由に話し合ってくださいことが分科会の充実につながります。

★世話人が足りないところは、過去の世話人さんに声掛けできる方がいれば、ぜひ声掛けを。

★今後の分科会打ち合わせは、次回10月の実行委員会と当日11時からの最終打ち合わせの2回です。

★現在の分科会等申込人数(重複回答あり)

小学生:10、中学生:14、高校生:12、障がい:10、学校:18、青年期:16、進路:9、居場所A:6、居場所B:9、親・家族:13、手をつなぐ:7、医療:11、非行:7、基礎・家庭:10、基礎・学校:14、未定:22、その他:18

★1日目11時からの世話人打ち合わせの昼食について、今年は各自で準備をお願いします。

☆以前、研究者が詳細をメモして、事例として外で発表したことがあった。分科会の記録は、記録係が報告のためにとるものだけにしてほしい。

☆言葉を選びながら、やっとの思いで話す人の顔を見て、全体から受け止めるものを大事にしないと。親の会でもそう。少しのメモはいいが、基本、世話人さんほど、一生懸命聞くことに集中すべきかと。

☆司会をするときに、参加者がどの位置とか、誰が何をいったかが大事なので、世話人もメモをとる。自分は、話をしている人をじっと見ることはしない。世話人さん、いろんな人のやり方があると思う。

★分科会の話を外部に持ち出さないということは確認したい。

2 分科会ごとに分かれての話し合い（分科会名称は略しています）

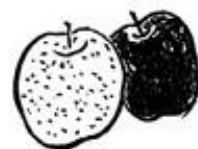
- 【1小学生】 世話人4人で話し合い。係の分担決めたり過去の世話人さんの名簿を見て、この方に声かけられないかと2人に連絡。和歌山の小学校の先生に来てもらいたい。記録とかの役割でなく、そこに来て、話を聞いてもらったり、先生の悩みを話してもらえたら。
- 【2中学生】 世話人、今日来られていない方も。2人新たに入ってもらった。司会と記録を決めた。大切にしたいことは、初めての人が気持ちを話しやすいように。遠方の方にはよく来てくれましたと伝えたい。来てよかったと思える分科会にしたい。20人を目処に分散したい。
- 【3高校生】 自己紹介のあと、前回話したことを基本に細かいところを話した。一人ひとりが話しやすく初めての人も話しやすいようにしたい。1日目、その日しか参加できない方を優先して話をしてもらう。地元の親に話をと言っていたが、居なければ世話人が体験を話すことに。役割分担決めた。
- 【4障がい】 前回2人だったが今回4人で話。自己紹介をした。障がい、いろんな要素を含んで話をしていくやろうなど。話したかったら話してもらい、話したくない人は聞いているだけでもいいということを確認しあった。役割分担決めた。回数を重ねるごとに見えてくる。
- 【5学校とのかかわり】 親や先生から話題提供してくれる人も決まって、うまくできそう。現時点で18人申込があり、20人超えそうなので分散する。親の思いを大事にしたい。前回くらいから関心が集まってすごい参加人数多い。学校が危機的状況だからかと。前は先生や支援者が主で保護者少なかったが、前は保護者も結構来た。学校でどういうことがおこっているか聞きたいということも。今年もいい交流ができそう。
- 【6青年期】 役割分担なんとかできそう。参加した人がなんでも話せる分科会にしたい。元気になった当事者が話をしてくれそう。質問ばかりにならないように、一対一にならないように、司会で配慮したい。司会が今回はじめてなので、資料の2の「世話人のみなさんへ」の1・2・3を「参加者のみなさんへ」として、参加者のみなさんと読み合わせをして始めたい。初日のみの方を優先して話をしてもらう予定。
- 【7進路と自立】 3人の参加で話。分散会3つに分かれるので、前回の方にもお願いをしているが、今のメンバーだと2分散くらい。参加人数9人なので、どんなふうになるかなと。最低2つはつくろうと。遠方からや初めての人の来てよかったと思ってもらえるようにしたい。当事者だった方が参加予定と聞いているので、今までのつながりを大切にしながら進めていきたい。
- 【8居場所A】 内容の話し合いはまだ。安心して過ごせる場とはどういうところかというあたり話し合えたら。司会はいままでずっとつどいに来られていた研究者相談員がおられるので、その方も含めてお願いしたい。他の役割分担は2人でした。
- 【8居場所B】 係決めた。居場所、年齢関係なく居場所は必要。グローバルな形でみなさんの話を聞けたら。1日目、自己紹介中心、2日目の午前に「創カフェ」の記録映画をみなさんに見ていただいて、その後、ディスカッション。午後からはまたみなさんで話し合う予定。映像上映の機器は持参。
- 【9親・家族】 2人追加できてくれた。いろいろ話。しんどい思いを吐き出す、安心して吐き出せる場が大事。喋りたくない人も、ここで話せば安心と自然と話が出てくるのではと。役割最低限決めた。参加13人、まだ世話人が足りないの、次集まって、その中で役割ふりたい。その中で口火を切る人をきめたい。小さい人から青年期まで多世代集まるとおもう。必要なら分散会にしたい。
- 【10手をつなぐ】 2人で話し合い。大切にしたいことは自分の話したいことを安心して話せるように。遠方やはじめての人に、心からねぎらいの言葉を表すようにしたい。聞くだけでもOK。分散はしないと思う。司会記録決めるに決められず。もう少し人が増えたら。1日目、確認事項のあと、自己紹介。2日目、ミニレポートしてもらう人が決まった。世話人にもなってもら。2日目、手をつなぐ輪を広げるということについて、話し合いを深められたら。
- 【11医療】 大切にしたいこと、配慮はみなさんと同じ。分散せず、できるだけ一つでやる。しんどい思いを抱えている人が多く来る。聞く姿勢を大事にしたい。話しきれないしんどい方や長時間話をする人、重い話題も出てくるが、そのあたりも配慮しながら司会を進めたい。治療法や医療機関を紹介してほしいということも出るが、個別回答を避けたい。
- 【12非行】 非行と向き合う親たちの会とつながっている和歌山の会の方に参加してもらって、助かった。やんちゃと言われた時代からずいぶん変わり、医療も関係するので、11分科会と行ったり来たりされる方も。親の苦しさ子どもが何をしたかということ話すのに大変時間がかかる分科会なので、丁寧に話をききたい。



- 【基礎講座 1 家庭】今日は1人。当日2時間。会場が小ホールで固定の席。小グループに分かれて話すことが難しい。来られた方が思いを出せるように、質問用紙を配って、1時間20分くらい話。休憩10分の間に質問用紙もらい、休憩後の30分に質問に答える形式でやってみようプランを考えた。
- 【基礎講座 2 学校】参加者が保護者か先生かで話の方向性が変わる。当日、参加者の立場を聞いてから始めたい。2日目午後に「学校で」が終わったら、「おわりのつどい」が小ホールであるので、終わりをのばさないようにきっちりやりたい。時間内に終わるよう、質問カードを作っておくなど工夫したい。
- 【ひろば】どんな遊びをするか、話し合った。いろんな打ち合わせをしたけど、最後はゲームのシミュレーションして終わった。当日のシミュレーションばっちり。
- 【速報】分科会に速報が届いたらタイミングを見て配布してほしい。分科会感想は世話人が読んでから本部へ届けてほしい。速報の内容は連絡と交流、分科会で話せなくても書くことならできる人がいるので、そういう感想を優先して載せたい。速報のカットを書いてくれる人、募集中。
- 【受付】8人で打ち合わせ。受付であることを確認。当日受付や変更などにも対応できるように、最低でも20人くらい人が必要。分科会に世話人で行く方もいるので、詳しく人数を確認していきたい。荷物預かりについても、番号札で対応予定。
- 【書籍】2人で打ち合わせ。10月の実行委員会で詳しく話をする予定。全体の流れにあわせて書籍の作業をどうするか、打ち合わせできた。

3 各手続き等の進捗状況

- ★協賛 日本母親大会と日本子どもを守る会がメッセージと協賛 OK。
チラシ配布してくれるようなので、カラーチラシを送付済み。
- ★報道 2学期が始まる、毎年不登校がメディアでも取り上げられる 8 月末に和歌山教育記者クラブで記者会見を行った。10社中4社が来てくれ、2社が報道。丁寧にこちらが話した内容を取り上げてくれた。記事を見て参加者が増えたら。その後、県内のマスコミ各社に開催案内を送付。(実行委員会後、さらに数社が報道)
- ★チラシ あちこちに配布。地元和歌山市内の小中学校、全学校に配らせてもらった。教委の後援取れていたの
で、配布できた。教職員組合関係も配布。全国的な集会や各地域でも配布でき、2万枚刷ったカラーチラシは
ほぼ配り切りました。
和歌山県の親の会や関係団体も動いています。他の地域も教育委員会回りなど、県下でひろげています。
那賀親の会のお母さんからの報告…会員それぞれが、チラシを車に常に乗せて、どこにいても配れるように。
コミュニティーセンター・図書館・市役所など、後援が入っているの割とどこでも置かせてもらえた。スーパー
はお店によりけり。知り合いの喫茶店にもお願いした。学校では支援学級や担任に直接渡した。子どもの高校
受験の見学に行った県立高校にも。カラーチラシをA3に拡大してその辺に貼ったり、実家にも貼ったり。○
○においてくれたとか、△△だめだったなど、みんなで報告しあって、やっています。
- ★協賛金 団体・個人から続々と届き、広がりを感じています。引き続き、よろしくお願いします。



感想から

- ★今日も新たな出会いがありました。そして分科会をどう運営するかの共有で、いろいろな配慮と視点で考える
ということ意識できました。当日楽しみです。(和歌山・元教職員)
- ★たくさんの方(初めての方たちも)が集ってくれて、和歌山のあったかさやつながりを感じました。教組や青年
の参加も本当に嬉しいです。いよいよ本番、いいつどいになりそうな予感がしています。(埼玉・家族)
- ★こんなに沢山の方が、同じ悩みを抱えている事を知り、また、長年向き合い続けられている事に驚きました。
当事者だけでなく、支援を続けてくださっている方に感謝しかありません。(和歌山・家族)
- ★実行委員会に参加すると、いつも元気をもらえます。今回初めて分科会にわかれて、お話ししました。(前回こ
れませんでした) 全国のつどいは初参加で、分科会でのお手伝いについてわからなかったのですが、分科会
でのお話で、少しイメージがわきました。いつも楽しい会ありがとうございます。10月25、26日も楽しみにし
ています。今日も楽しかったです。(和歌山・家族)

